

図書館だより 7月号



平成28年7月6日発行 川島中学校・高等学校図書館

☆第1回 校内読書会☆

6月22日(水)放課後、第1回校内読書会が開催されました。参加者は、図書委員27名でした。今回の読書会では、学年ごとに短編小説を読み、感想を書きました。感想の一部を紹介します。

☆『冬のダッフルコート』 谷村志穂／著(「ベリーショート」所収 集英社)

5歳の時に家を出た母にかわって、小さかったマユの面倒をみてくれた兄貴。そんな兄貴との映画を楽しみにしていたが、兄貴は一人の女性、吉田さんを連れてきた。

幼い頃に母親が家出したことによほど傷ついていたのか、所々に母親や兄貴の連れてきた女性に対して嫌悪している所が感じられとても印象的でした。また、自分自身に少なからずコンプレックスを持っていて、綺麗でかっこよくなりたいという思いも伝わってきました。帰り道、「信じて待っていてくれた。結婚したいと思っているよ。」と兄貴に言われてから、自分の気持ちを改めるところに感動しました。 41HR 女子

マユと、マユを支える兄貴との関係の変化や、吉田さんへの感情の変化がうまく書かれていると思いました。「今日は、吉田さんも一緒に映画を観ていいか？」という問いかけに嫌だとは言えず、せめてもの反抗に不機嫌になったり、オムライスをわざと汚く食べたりしますが、兄貴の「信じて、待ってくれた」という言葉にその気持ちが大きく変化します。誰かが待っていてくれる安心感をよく知っているマユの優しさだと思いました。

41HR 女子

あったかい話なのかなと思いました。意外にも寂しい気持ちになるお話でした。お兄さんのことが好きだという気持ちがわかると同時に、吉田さんへの嫉妬ややきもちのような気持ちが表れているのがわかりました。その気持ちの表し方がかわいらしく、「マユ」の妹感が出ていて、良いと思いました。

45HR 女子

☆『夕日へ続く道』 石田衣良／著(「約束」所収 角川書店)

中学校生活に嫌気がさし不登校になった雄吾。冬の公園で出会ったのは廃品回収の老人だった。この老人との出会いにより、雄吾の考えは少しずつ変わっていく…。

雄吾が公園のベンチで座っている場面が、とても空虚で寂しいなと思いました。ですが、老人と出会ってからは明るくなり、口数も増えてきたので、心が温かくなりました。老人が倒れた場面では、雄吾の悲しみや困惑が伝わってきました。この作品は、老人と出会い変わっていく様子や両親との関係も描かれ、とても考えさせられる物語でした。

51HR 女子

雄吾は不登校で親も特にそれを怒ることなく賛成側だったのが不思議だった。義務教育なのに、どうして親は学校という大切な存在を、息子に伝えなかったのだろう。そこで現れた源ジイという存在。年も性格も正反対な二人が、どうして寒い冬の2週間を乗り越えることができたんだろう。源ジイは妻を亡くして一人きりで、雄吾も学校に行かない。正反対のようで実は似た者同士なんだなと思った。源ジイという大切な存在ができた今なら、雄吾も学校に行けるだろう。 52HR 女子

「ごはんだけのお昼なのに、なぜこんなに身体のなかがあたたかいんだろう」というところは源ジイが一生懸命に雄吾のために作ったからなんだなと思いました。源ジイが雄吾に「そろそろ中学に戻ってくれ。(中略)世間を広く見て、おれやうちの息子より、立派な人間になってくれ。」と言ったことは、これからの雄吾を左右する言葉だったと思いました。 55HR 女子

☆『マジック・アワー』 関口尚／著(「短篇ベストコレクション:現代の小説2005」所収 集英社)

校内マラソン大会で黒崎に勝てない陸上部の萩原。練習をしない黒崎になぜ勝てないのか。傷ついた心で街をぶらつく萩原は、黒崎の意外な一面を知る。

萩原と黒崎がランニングという共通の努力をしていることが、昼から夜、夜から昼へのマジック・アワーという情景の描写でつながっているように感じ、とても面白かったです。また、黒崎に対する萩原の心情の変化や、登場人物の細かい描写もあり、読みやすく、物語の世界観に入りこみやすかったように思いました。黒崎が人知れず努力しているという場面では、改めて努力する人の力強さと、努力をすることの大切さを感じました。 61HR 女子

苦しい練習を積み重ねて結果が出ないことは、本当に悔しいと思います。そんな時に、支えてくれる家族や友人がいて、一つの困難を乗り越えていけると、この本を読んで感じさせられました。今まで努力してきたことが無駄ではなく、自信になるようにしていきたいです。さまざまな困難を乗り越えた先には、自分にとっていい未来があると思いました。 62HR 男子

「青春」って感じだなと思いました。一度負けたからといって投げ出す気持ちは、なんとなくわかる気がします。練習していても結局無意味と考えてしまうと、なんにもかもマイナス思考になっていきます。だから、私もできるだけ前向きな考え方をしていきたいです。できる人が知らないところで努力しているのならば、それに負けないうらい努力すればよいと思い、しっかりと頑張っていきたいです。 65HR 女子

読んでみたい本がある人は図書館へ来てください。
第2回校内読書会は、11月の予定です。
みなさんの参加をお待ちしています！



☆青少年読書感想文全国コンクール 課題図書☆

「青少年読書感想文全国コンクール」の課題図書が決まりました。
あらすじを紹介しますので、気になった本があれば、読んでみてください。

課題図書は、図書館カウンター前に置いてあります。多くの方が利用するので
貸出期間を守って利用してください。

中学校の部

★ **ABC!** ^{あけぼの} 曙 第二中学校放送部 市川朔久子／著 講談社
超絶美少女転校生が弱小放送部にやってきた！
筋トレにランニング、^{かつぜつ}滑舌訓練に番組制作…。
不器用な部員たちがコンクールめざしてがんばる友情物語。



★ **白いイルカの浜辺** ジル・ルイス／著 さくまゆみこ／訳 評論社
野生のイルカを調査中に行方不明になった母。浜辺で傷
ついたイルカの子を見つけたカラは、母への思いをかさね、
何とか助けようとしみます。少女の気持ちが、周囲の人々に
伝わり、やがて大きな活動へと広がっていきます。



★ **生きる** ^{りゅう りえんれん} 劉連仁の物語 森越智子／著 童心社
1944年9月、日本軍により中国から連れ去られた
劉連仁。過酷な炭鉱労働から逃亡し、北海道の山中を13
年間生き抜きました。二度と戦争の悲劇を繰り返さないた
めに伝えたい真実の物語です。



読書感想文は、課題図書以外に自分が好きな本で書いてもかまいません。
作文が苦手という人には、図書館にこんな本があります。参考にしてください。

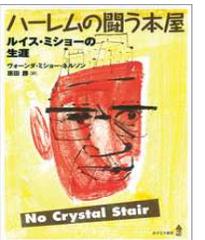
- ・13歳からの作文・小論文ノート 小野田博一／著 PHP研究所
- ・日本語作文術 野内良三／著 中央公論新社
- ・考える読書 全国学校図書館協議会／編 毎日新聞社
- ・徳島県優秀作品集 徳島県学校図書館協議会／編・発行

高等学校の部

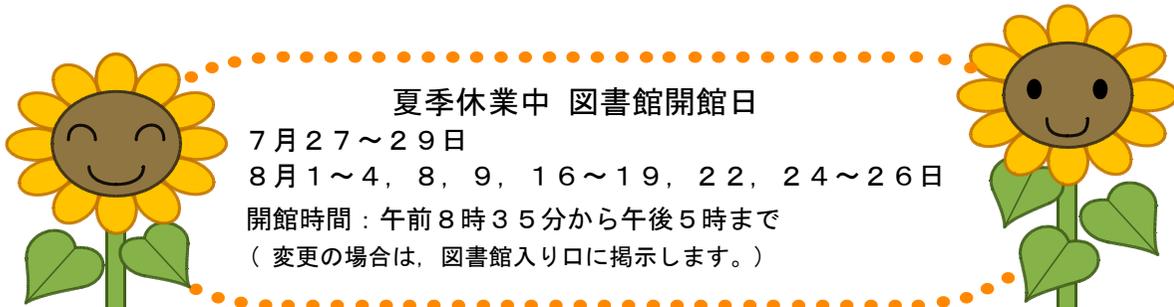
☆ **タスキメシ** ^{ぬかが みお} 額賀 滯／著 小学館
将来を期待されながらも、けがで陸上をあきらめ、料理の
道に進んだ兄と、ずっと兄に憧れ、後ろを走ってきた弟。
一度別れた兄弟の道が、駅伝の聖地・箱根で再び一つになる!?
感動の物語です。



☆ **ハーレムの闘う本屋** ルイス・ミシヨウの生涯
ヴォーンダ・ミシヨウ・ネルソン／著
原田勝／訳 あすなろ書房
権力、差別に屈することなく、ニューヨークのハーレム
で全米一の黒人専門書店をつくった男性の生涯の物語。黒人
は本を読まないと言われていた時代に、黒人に本を、知識を
広めることに尽力したルイス・ミシヨウとは…?



☆ **シンドラーに救われた少年** レオン・レイソン／著
古草秀子／訳 河出書房新社
第二次世界大戦中、実業家シンドラーは、ナチスのユダヤ
人虐殺から多くの人の命を救いました。「シンドラーのリス
ト」に載り生き延びた少年と家族の証言録です。作者は、
この本の原稿を書き上げた直後、2013年に亡くなりました。



夏季休業中 図書館開館日

7月27～29日

8月1～4, 8, 9, 16～19, 22, 24～26日

開館時間：午前8時35分から午後5時まで

(変更の場合は、図書館入り口に掲示します。)

7月12日からの貸出は、返却日が8月29日（第2学期始業式の日）になります。たくさん利用してくださいね！